

衛生委員会議事録（第 34 回）

日 時	2020 年 3 月 26 日 17:00	
場 所	本社会議室 Milan (8 人円卓)	
出 席 者	委 員 長	人事総務部 高野
	産 業 医	諏訪内医師
	衛生管理者	人事総務部 高野
	事 務 局	人事総務部 清水 English t
	委 員	マーケティング部 高田、マーケティング部 大城 教育企画部 永野
議 題	(1) 産業医の講話 (2) 休職者・労働災害・長時間労働者の報告	
決 定 事 項 ・ 報 告 事 項	(1) 諏訪内医師より、働き方改革について衛生委員会委員が受講。 内容は下記のとおり。 ・働き方改革実行計画のポイントはいくつかあるが、特に、長時間労働の是正・病気の治療、子育て、介護等と仕事の両立、障害者就労の推進、外国人材の受入れ、高齢者の就業促進がポイントとなる。 ・IT 産業において、長時間労働が発生する理由は、トラブル等の緊急対応 (59.1%)、顧客対応 (47.9%)、仕様変更 (42.5%) 等、主に発注者等顧客からの要望等への対応が多い。 ・政府の発表した「過労死等防止対策白書」には、週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合を現状の 7.7%から 2020 年までに 5%以下にするなど「過労死等の防止のための対策に関する大綱」の目標が記載された。 ・また、年次有給休暇取得率の割合を 2020 年までに 70%以上にする目標も示されている。 ・さらに、勤務間インターバル制度について、2020 年までに労働者 30 人以上の企業のうち①「制度を知らない」と回答する企業の比率を 20%未満とすること、②制度の導入企業の割合を 10%以上とする目標も示されている。 (2) 高野人事総務部マネージャーより、2020 年 1 月度について、休職者、長時間労働者、労働災害の状況について説明があった。	
そ の 他		